

みんな、伊方へ来なはいや。～特産品がいっぱい「きなはいや伊方まつり」～ 愛媛県 伊方町

伊方町は、四国の最西端、九州に突き出た「日本一細長い半島」と言われる佐田岬半島に位置し、平成17年4月に、旧三崎、瀬戸、伊方の三つの町が合併し、新しい伊方町として誕生しました。

九州との間に広がる豊予海峡で水揚げされる「岬アジ・岬サバ」、半島特有の段々畑で、陽の光をいっばいに浴び、風味豊かに育ったさつまいも「瀬戸金太郎いも」、柑橘王国である愛媛の中でも名産地として知られる「清見タンゴール、温室みかん」等、合併により自慢できる特産品が益々充実してきました。

7月29日から3日間にわたり行われた「きなはいや伊方まつり2006」の様子



オープニングセレモニーの風景(伊方堂々太鼓ジュニアの演奏)

「いな伊方まつり」は、旧伊方町の時代から数えて、今年で17回目となり、今では、自分達で作り上げた真夏の元気なイベントとして広く認知されています。

中でも、「杜氏の里の酒まつりと食の祭典」は、伊方の郷土料理を肴に、伊方町が誇る歴史ある「伊方杜氏」が丹誠込めて醸し出した自慢の酒が、無料で味わえるということで、根強いファンに支持され続けています。

この他にも、アジ、タイ、ヒラメ等の活魚のつかみどり、和太鼓の競演、こどもすもう大会、姉妹都市北海道泊村の物産販売、電力会社の協力によるキャラクターショー等々、例年の猛暑の中、子供からお年寄りまで、来場者の期待を裏切らない盛りだくさんの催しで盛り上がりました。

(電源立地地域対策交付金活用事業)

お問合せ先
伊方町 商工観光課
TEL 0894-38-0211

いきいき電源地域

「電気のふるさと」電源地域「ニュース」では、電源地域のさまざまな取り組みを紹介しています。

このコーナーでは、読者の皆様からお寄せいただいたご意見・ご要望を積極的に誌面に反映させて参りますので、皆様の地域で取り組んでおられる事業や施策をどしどしお寄せください。巻末にご意見・ご質問もご活用ください。心よりお待ちしております。

若狭おおいのスーパー大火勢 ～新しい町の伝統づくりと地域の活性化をめざして～ 福井県 おおい町

おおい町は、県の南西部に位置し、平成18年3月3日、大飯町と名田庄村が合併して誕生した人口約9千人の町です。

昔この地では、若狭湾の海水を焚き、塩を都へ送っていたと伝えられています。その火が今は原子力となって都市を支えています。そして、300年余の伝統を持つ、愛宕の火祭り(火勢)が今もお受け継がれています。



舞い散る火の粉を振り払いながら回転する大火勢。場内の熱気は最高潮に

その「火」を絶やすことなく未来へ伝え、さらに、新しい「おおい町」の伝統づくりと地域の活性化をめざして、今年で12回目となる「若狭おおいスーパー大火勢」が8月5日に行われました。このスーパー大火勢は、高さ20メートル、重さ1トンの木の葉型の燃え上がる大松明を、若衆が「ヤッサー、ヤッサー」という勇ましい掛け声に合わせて回転させます。闇夜に浮かび上がる炎の輪はとても力強く、幻想的な風景です。

この祭りは町民参加型のイベントとして開かれ、実行委員会(有志)によって企画・運営されます。準備は、松明材料(カヤ)の用意など、祭りの半年前から始まります。祭り当日には、町全体が多くの人で賑わい活気づきます。

お問合せ先
おおい町 企画課
TEL 0770-77-1111